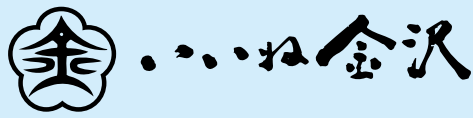


第46号 (2019年度)



国際親善ニュース



バッファロー市長表敬訪問



世界8都市・食の祭典

金沢市姉妹都市交流委員会

本市の姉妹都市・友好交流都市間で「食」とおした相互交流を行い、本市の市民、食文化関係者、国際交流団体など、幅広い方々に参画してもらう交流事業を、2019年10月11日～17日に実施しました。

1. 日程

10月11日～12日 食文化団来沢。市内視察等
10月13日 市民向け料理講座（於：金沢学院大学）
10月14日 世界8都市・食の祭典（於：金沢市役所序舎前広場）
10月15日～16日 料理人交流（石川県菓子工業組合、石川県洋菓子協会、金沢芽生会、石川県華僑

華人联谊会）

10月16日～17日 離沢

2. 参加都市

ベルギー・ゲント市、フランス・ナンシー市、中国・蘇州市、中国・大連市

世界の食通を魅了！「世界8都市・食の祭典」

姉妹都市・友好交流都市の料理、体験等を通じて、市民への国際理解を深めるため、10月14日（月・祝）に金沢市役所序舎前広場で「世界8都市・食の祭典」を開催しました。

村山卓金沢市副市長の主催者挨拶の後、松村理治金沢市議会議長の来賓挨拶、ベルギー・ゲント市職員のシリーズ・モリス氏による開会宣言でスタートしました。途中、山野之義金沢市長も駆けつけ、会場は盛り上がりました。

午前と午後の2回、各都市の料理人による料理の説明、試食が行われ、多くの来場者が一流の料理に舌鼓をうっていました。

また、出店ブースでは、各都市の名物料理等が提供され、人気を博していました。

ステージでは、「李彩霞アンサンブル」の二胡演奏、「金沢市消防音楽隊」の吹奏楽演奏や国際交流員による姉妹都市クイズなどが行われ、参加者はイベントを満喫していました。

【出店ブース（協力団体）】

- ①アメリカ・バッファロー市：チキンウイング（かなざわ体験プログラム実行委員会）
 - ②ロシア・イルクーツク市：ピロシキ（金沢市ロシア協会）
 - ③ブラジル・ポルト・アレグレ市：シュラスコ（小松市国際交流協会）
 - ④ベルギー・ゲント市：チョコレート（石川県洋菓子協会）
 - ⑤フランス・ナンシー市：キッシュ（金沢日仏協会）
 - ⑥中国・蘇州市：白玉入りおしるこ（石川県華僑華人联谊会）
 - ⑦韓国・全州市：ビビンバ（石川日韓友の会カナダラくらぶ）
 - ⑧中国・大連市：エビマヨ（石川県華僑華人联谊会）
- 【後援】北國新聞社、NHK金沢放送局、北陸放送(株)、広坂振興会（協力）



開会式



ステージイベント：姉妹都市クイズ



出展ブース



姉妹都市コーナー

市民向け料理講座開催

各都市の食文化団が講師を務める料理講座を金沢学院大学・金沢学院短期大学の教職員・学生の協力のもと開催しました。講座では、市民32名が金沢学院短期大学原田教授からゲント市、ナンシー市、蘇州市、大連市の料理についての解説を受け、現地で活躍する菓子職人、料理人らの実演を見学した後、調理体験を行い、姉妹都市の食について楽しみながら理解を深めました（台風の影響で到着が遅れたナンシー市、大連市の講師は金沢在住のフランス人、中国人料理人に務めて

いただきました）。

開催日 10月13日（日）
会場 金沢学院大学



実演の様子
（ゲント市ニコラス・ヴァネイセ氏）



指導の様子
（蘇州市翁華明氏）

ベルギー・ゲントのショコラティエが交流

2019年10月15日、ゲント市のショコラティエ、ニコラス・ヴァネイセ氏が、石川県菓子工業組合（金沢うら田）と和菓子の交流を、石川県洋菓子協会（ル・ミュゼ・ドゥ・アツシュ、ふらん・ドール）と洋菓子の交流を行いました。ヴァネイセ氏は、自身の店舗「YUZU」で、和に影響を受けたチョコレートを提供しており、人気を得ています。（関連記事P13）

フランス・ナンシーのシェフが交流

2019年10月15日から16日の日程で、ナンシー市のレストランTransparenceのシェフ、パトリック・フレッシュ氏が市内の老舗料亭つば甚で研修を受けました。つば甚の料理人と交流しながら、出汁の取り方、魚の捌き方、盛り付けなど指

導を受け、金沢の食文化である調理法、食器、作法、しつらえを学びました。



つば甚での研修

中国・蘇州市、大連市の料理人が交流

2019年10月15日、蘇州市、大連市の料理人4名が石川県華僑華人聯誼会（業香楼）で金沢の中華料理人と交流を行いました。蘇州市からは、点心の人気店「朱新年ブランド」創始者である朱新年氏、「江蘇国泰南園賓館有限公司」の蘇州点心名手の翁華明氏、大連市からは大連の迎賓館「大連棒極島賓館有限公司」で活躍する中国10大シェフ庄欣文氏、料理長の韓斌氏が参加しました。（関連記事P15、P17）

金沢市代表団 バッファロー市等訪問

2019年11月3日から5日にかけて、村山卓副市長を団長とする金沢市代表団3名がバッファロー市を訪問しました。

滞在期間中は、道井孝子会長をはじめ、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の方々から案内していただき、ことじ灯籠が設置されている日本庭園、フランク・ロイド・ライト建築等を視察しました。

また、バッファロー市庁舎を訪れ、バイロン・ブラウン市長を表敬訪問しました。ブラウン市長から、「両市の交流がバッファロー市の文化交流や青少年交流に大きな役割を果たしている」とあいさつがありました。それを受けて村山副市長は、「今後も若者の交流に力を入れていきたい」と抱負を述べ、これまで築きあげてきた友好の絆を基盤に今後、交流と協力の拡充に努めることを確認しました。

その後、代表団一行はニューヨークへ移動し、「金沢セミナー」を開催しました。現地メディアや旅行会社の方からは高い関心が寄せられました。また、食文化交流事業に協力し

てくれているNPO法人五絆ソサエティとニューヨーク石川県人会を訪問しました。

（主な日程）

- 11/3 アメリカ・バッファローへ（移動日）
- 11/4 日本庭園視察
バッファロー市長表敬訪問
- 11/5 フランク・ロイド・ライト建築視察
ニコラス・スクール視察
ニューヨークへ
- 11/6 NPO法人五絆ソサエティ訪問
「金沢セミナー」開催
ニューヨーク石川県人会訪問
- 11/7 ニューヨーク発（移動日）
- 11/8 帰沢（移動日）



バイロン・ブラウン市長表敬訪問



日本庭園視察



バッファロー市の庭園後援協力者

多文化共生事業

地域コミュニティ国際交流モデル事業

日本人住民と外国人住民が暮らしやすい地域を共に作って、くことを目指したモデル事業を大桑町平地区で行いました。町会と連携し、ごみの分別に関する説明会や交流会、防災訓練などを開催し、生活習慣の違いを認め合い、互いを助け合える住みよい地域づくりを進めました。



防災訓練の様子

多言語ライブラリーを金沢市ホームページで掲載

市役所から郵送する国民健康保険料や税金などの通知書などを英訳し、金沢市のホームページに掲載をはじめました。今後も、掲載文書数を拡充していく予定です。

多言語電話通訳サービスの拡充

外国人住民と職員との窓口でのコミュニケーション支援として、多言語電話通訳サービスを導入しています。2019年から、従来の英語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語に加え、インドネシア語の通訳サービスも可能となり、サービス導入窓口も、32窓口から37窓口を増やし、サービスの向上に努めています。

外国人の防災～地域の防災を共に担う留学生プロジェクト開催～

2019年8月24日から25日の日程で、地域の防災を共に担う留学生プロジェクトを開催しました。本プロジェクトは市内在住の留学生の防災に関する知識を向上させ、防災を担う外国人防災リーダーの育成を目的に行ったもので、9名の留学生と4名の国際交流員が参加しました。

初日は、大桑防災広場を主会場とし、藤谷敏之危機管理課長補佐や城崎、石黒、花岡、横浜防災士から、防災に関する知識や災害時の炊事要領、避難所生活での注意事項などを学びました。その後は、金沢市中央消防署の見学や起震車、救急車体験などを行い、夜は防災カルタや非常食試食体験な

ど充実した一日を送りました。

2日目は、新神田小学校で行われた新神田校下市民防災訓練に参加しました。炊き出し訓練に参加したり、簡易ベッドの作り方を教えてもらったり、避難所となる訓練会場を回りながら避難所生活を模擬体験しました。

その後、参加者たちは2日間の経験をもとに、①周囲のひと・外国人に教えたい災害・防災に関する知識、②災害に対する普段の備えとしてやっておきたいこと、③災害が起きたとき、周りのために自分のできることを発表し、プロジェクトを締めくくりました。



災害時の炊事要領を学ぶ



起震車を通して大規模地震を実感



炊き出し訓練に参加



アイデアを出し合う参加者たち

国際交流員による消防実務語学研修

外国人観光客が増加するなか、安全・安心なまちづくりを推進する一環として、消防局職員の外国語能力の向上を図ることを目的として、外国語研修を開催しました。

- ・消防実務英会話研修日 9/10、3/3、3/11
- ・講師 ロスマン・ヘイリー交流員（アメリカ）



KANAZAWAかがやき大学講座で「金沢で働く」を学ぶ!

2019年6月27日、7月11日、18日の日程で、「KANAZAWAかがやき大学講座」を北陸大学との連携協力事業として、同大学の大学生と留学生を対象に、「国際化に挑む企業から地元で働く魅力を学ぶ」をテーマに初めて実施しました。「金沢で働く」と題した講義を受けた後、企業での実地研修を通じて「大都市では得られないくらしの豊かさ、ほかの地方都市では得られない世界との一体感」を感じられる金沢で働く魅力についての理解を促しました。

(日程)

6月27日(木) 於：北陸大学
参加者18名(日本人学生8名、留学生7名、国際交流員3名)
開会式、オリエンテーション、座学(かがやき発信講座「金沢市新産業創出ビジョンについて」、「金沢で働く」)

7月11日(木)
参加者20名(日本人学生8名、留学生10名、国際交流員2名)
企業視察(会宝産業株式会社)：近藤典彦会長から講義を受講。工場見学、北陸大学留学生OBとの懇談
企業視察(中村留精密工業株式会社)：会社説明、工場見学、北陸大学OB・OGとの懇談

7月18日(木) 於：北陸大学
参加者18名(日本人学生8名、留学生7名、国際交流員3名)
意見交換会、総評、交流会



かがやき発信講座を受講



近藤会長の講義



OB・OGとの懇談



グループ内討論



意見発表会



交流会

「イルクーツク市での青少年交流発表会」を開催

2019年8月31日、「イルクーツク市での青少年交流発表会」を開催しました。発表会では、本年度イルクーツク市に派遣された中学生が活動の成果を発表し、意見交換を行い、国際感覚を身に着けた「国際交流サポーター」(国際交流のボランティア)の育成にも繋がりました。

司会は2017年に派遣された国際交流サポーター、ファシリテーターは金沢市在住でロシア出身のプシマキナ・アナスタシアさんが務めました。発表は2017年に派遣された国際交流サポーターが若者の国際交流に関する基調報告をした後、中学生15名が、各テーマに沿って発表し、活発な議論を行いました。

開催日 8月31日(土)
会場 金沢市文化ホール2階「大集会室」
概要 13:00~13:10 開会
13:10~15:00 発表(高校生1名、本年度派遣中学生15名)
質疑応答
15:00~16:00 茶話会(交流会)

発表テーマ

- 食について
 - ロシアの人達が食べるお菓子
 - ロシアの夏の食べ物
 - ロシアの食文化
- 生活について
 - ロシアの日常にあふれる「日本」～イルクーツクで探しました～

- ロシアのスーパーマーケット～日本のスーパーマーケットとの違い～
- ロシアと日本の違い～同年代の生活～



発表会での質疑応答

- 衣について
 - ロシアの民族衣装～伝統的なファッション～
 - ロシアの人々の普段の衣服～日本とのさまざまな違い～
- 社会について
 - ロシアの医療～ロシアと日本の同異点～
 - ロシアの学校・学生事情～日本とロシアの教育の違い～
 - 金沢とイルクーツクの街並みの相違点
 - 標識や案内マークについて～ロシアと日本の共通点と違う点～
- 文化について
 - ロシアの音楽について～日本とロシア音楽の共通点や相違点について～
 - ロシアの外国語について～ロシアの看板に見る文字・学校での言語教育～
 - 日本とロシアにおけるお茶文化に関する一考察～お茶のあり方について～

国際交流特使養成塾の開催

留学生等を対象に、金沢の文化等を講義や体験を通じて学ぶ「国際交流特使養成塾」を通年で開催しています。2019年度は計5回開催しました。

1. 概要

特使は、帰国後もSNSや現地でのイベント等で、海外への金沢の魅力発信を担ってもらうことを目的とし、「国際交流特使養成塾」を終了した留学生は、「金沢市国際交流特使」として金沢市長より任命されます。

特使養成塾受講留学生の国籍別内訳

(2020年2月1日現在)

	計
中国(台湾含む)	34
ベトナム	11
インドネシア	8
その他	19
計	72

2. 講座内容

○第1回 6月15日(土)

テーマ：加賀友禅を体験してみよう！

内容：着付け実演、型染体験

○特別 8月24日(土)～同8月25日(日)

テーマ：地域の防災を共に担う留学生プロジェクト

内容：金沢市消防局・中央消防署視察、市民防災訓練参加

○第3回 10月5日(土)

テーマ：加賀野菜について知ろう！

内容：さつまいもの収穫体験、加賀野菜を使った料理作り

および試食

○第4回 11月30日(土)

テーマ：金沢湯涌江戸村におけるLiving History

(生きた歴史体感プログラム)

内容：昔の種苗店の商いや暮らしを体感

○第5回 1月25日(土)

テーマ：発見！日本のめでたいものと金沢のご当地グルメ

内容：金沢市立中村記念美術館見学、金沢のご当地グルメ体験



第3回講座 さつまいも収穫



第4回講座 くらし体験

国際交流特使による金沢PR活動

在外公館に金沢市ブースを出展

	〈ベルギー〉 在ベルギー日本国大使館	〈ブラジル〉 在ポルト・アレグレ領事事務所	〈ロシア〉 在ロシア日本国大使館
開催日	2月6日(木)	2月6日(木)	2月13日(木)
場所	駐ベルギー日本国大使館	ポルト・アレグレ州医師協会ホール	在ロシア日本国大使館
出席者数	非公開	150名	761名
派遣者	ヨナタン・フリードマン(元留学生) サラート・マルテン(元留学生) ドブラブ・ワネス(留学予定)	金沢友の会	リプキン・セルゲイ (金沢市国際交流特使、元石川県 国際交流員) サモトイナ・エカテリーナ
内容	展示：ポスター、パンフレット、工芸品等 味覚：地酒、和菓子 体験：金箔体験		



在ベルギー日本国大使館



在ポルト・アレグレ領事事務所



在ロシア日本国大使館

姉妹都市から国際交流特使養成短期研修生を受入!

本市では、2015年度より、金沢と姉妹都市交流を支える地域の交流拠点である「サポーターズクラブ」などが派遣する海外の若者を受入れ、各種講座・体験のほかホームステイなど市民との交流の場も取り入れた約2週間の「国際交流特使養成・短期研修事業」を、金沢国際交流財団と連携して行っています。

5回目の今回は2020年1月27日から2月7日の期間に行い、アメリカ・バッファロー市より1名、ブラジル・ポルト・アレグレ市より1名、ベルギー・ゲント市より1名、中国・蘇州市より1名の計4名の研修生を受け入れました。なお、ゲント市からは、2018年11月に山野市長がゲント市を訪問した時に設立された「金沢—ゲントサポーターズクラブ」を通して今回初めて参加しました。

研修プログラムでは、芸妓のうの文化等に関する講座や琴の演奏、和菓子や加賀野菜を使った和食作りなどの各種文化体験、まちなみ、文化施設や史跡等の実地見学などを通して「金沢」を学びました。

特に、姉妹都市からの特使研修生として金沢をより深く知るために、金沢海みらい図書館の姉妹都市図書コーナーや姉妹都市公園を訪れ、姉妹都市間の絆を確認しました。

また、北陸大学の学生との交流では、書道体験や福笑いなどの日本の遊びを体験し、最後は様々な具材を入れたたこ焼きづくりなどの交流を行いました。

4人の研修生は、金沢で学んだことの成果を発表し、金沢市長より「金沢市国際交流特使」に任命され、帰国後、現地のイベントやSNS等で、今回体験した金沢の魅力を広く発信していきます。

[参加者]

【バッファロー市】1名

マデン・トリスタン (男) ニコルズ私立高校

【ポルト・アレグレ市】1名

アンシエタ=ローシャ・ルアナ (女)
リオグランデドスール連邦大学

【ゲント市】1名

バート・ヨルゲン (男) ゲント大学日本語学科

【蘇州市】1名

周与青 (女) 蘇州科技大学外国語学部日本語専攻



能を体験



加賀野菜で料理体験



姉妹都市公園



北陸大学での交流



ホストファミリーとの交流



お座敷体験

元金沢市国際交流員を金沢市国際交流特使に任命

ベルギー対外貿易局・公式訪問・
経済ミッション部長来訪

2019年4月8日、ベルギー対外貿易局に公式訪問・経済ミッション部長として勤務している元金沢市国際交流員ローズマリー・ドンク氏が来沢し、金沢市国際交流特使に任命されました。ドンク氏は金沢市国際交流員として2001年8月から2004年8月までの3年間、通訳・翻訳やゲント市・ナンシー市との姉妹都市交流等に携わりました。

また、同氏は2002年12月に金沢市伝統手工芸団で同行した、たけざいししくにんつかのりうんし、かが、さつ、かなはらあきこし、たげ、ねんこう、あた、金沢、かなざわ、PRします。

在日ベルギー・ルクセンブルク商工会議所
ジェネラル・マネージャー来訪

2019年11月1日、在日ベルギー・ルクセンブルク商工会議所にジェネラル・マネージャーとして勤務している元金沢市国際交流員ソフィー・ボックラント氏が来沢し、金沢市国際交流特使に任命されました。ボックラント氏は金沢市国際交流員として2006年8月から2011年8月までの5年間、通訳・翻訳やゲント市・ナンシー市との姉妹都市交流等に携わりました。

また、同氏は、たにぐちよしろう、よしお、ねんかなざわけんちくかん、すずきだいせつ、かな、し、ざつ、とくし、金沢、かなざわ、PRします。

金沢マラソン2019に姉妹都市・友好交流都市から7代表団が参加！

2019年10月27日、「金沢をまるごと『走る!』」をキャッチフレーズに、金沢の魅力が満喫できる7つのゾーンを走るフルマラソンの大会「金沢マラソン2019」に参加するため、本年度は10月25日から28日の期間、本市の6姉妹都市・1友好交流都市からの代表団25名（うちランナー18名）が、来沢し、大会に華を添えました。

マラソン当日、姉妹都市・友好交流都市からの出

走者は、14,000人（うち国外約1,000人）を超えるランナーとともに、山野之義・金沢市長の号砲を合図に一斉にスタート。時折雨が降る中、途切れることのない沿道の熱い声援に力を得て、大連市の許王選手が、外国人で初めて6位に入賞するなど全員が楽しく走りまわりました。金沢マラソンの参加を契機とする本市の姉妹都市・友好交流都市間の新たな交流が芽生えました。



表敬訪問後の記念撮影



送別会後の記念撮影

【訪問団】

都市名	団長	所属等	人数（ランナー）
バッファロー	シムニカ エロール	Buffalo-Kanazawa SS	4名（2名）
ポルト・アレグレ	アナイー ミケリニ	市民ランナー	4名（2名）
イルクーツク	グマロバ ニーナ	Sport club "Baikal-Irkut"	2名（2名）
ゲント	スヘーレン パウルヘンリー	市民ランナー	2名（2名）
ナンシー	モルレ ジャン＝マルク	ASTV Nancy	3名（3名）
蘇州	カン 新偉	蘇州市体育競技管理センター科員	6名（4名）
大連	閻 安	大連市体育局群衆体育处处长	4名（3名）
合計：7都市			25名（18名）

【主な滞在日程】

日付	内容
10/25（金）	表敬訪問／歓迎会
10/26（土）	コース下見／市内視察（兼六園・ひがし茶屋街等） 金沢マラソン前夜祭
10/27（日）	金沢マラソン2019参加 送別会
10/28（月）～	各市代表団離沢



在日フランス商工会議所広報担当官 来沢

2019年8月21日～22日にかけて、本市の文化や工芸の魅力に関係企業に発信してもらうために在日フランス商工会議所より、ボ・ロマン広報担当官を招聘しました。8月21日には、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館、鈴木大拙館を視察したほか、食文化を体験しました。また、22日には、金沢市役所を訪れ、山野市長を表敬訪問したほか、加賀友禅工房を視察しました。

【主な日程】

- 8/21 来沢、市内視察、食文化体験
- 8/22 金沢市長表敬訪問、市内視察、離沢



「石川中央都市圏・国際交流の未来をつくる若者フォーラム」を開催

2019年7月27日、金沢市文化ホールを会場に「石川中央都市圏・国際交流の未来をつくる若者フォーラム」（主催・石川中央都市圏・国際交流連絡会）を開催しました。

このフォーラムは、4市2町の国際交流員が企画し、初めて実現しました。4市2町の国際交流に関心を有する若者が集い、事例発表やパネルディスカッション、交流を行いました。事例発表では、若い豊かな感受性で得た体験を堂々と話し、パネルディスカッションでは「国際交流をしてみても、マイナスなことは何もない」、「国際交流と難しく考えずに、挑戦してほしい」という発言がありました。また、フォーラムの最後にはNPO法人YOU-Iメンバーが出身国の飲み物を紹介する「多国籍カフェ」を開催、参加者同士が飲み物を片手に会話を楽しみ、交流を深めました。

国際交流の未来をつくる若者フォーラム

1 基調講演：私の国際交流

講師：国際交流サポーター 徳前 藍

(テレビ金沢アナウンサー)

2 事例発表：今までに、どのような国際交流経験をし、何が得られたか

発表者：国際交流経験がある中高生

野々市市 中学1年	薬師 楓
野々市市 高校2年	宮本 里紗
津幡町 高校3年	納口 倅成
金沢市 高校2年	塔島 百恵

3 パネルディスカッション：

今までの国際交流の経験を、どのように生かしているか
パネリスト：大学生または社会人

白山市在住	大学生	橋詰 明璃
金沢市出身	大学生	長谷川花梨
白山市出身	社会人	板谷 明菜
かほく市在住	社会人	由多 健太
かほく市在住	社会人	金原 竜生

4 交流会「多国籍カフェ」（協力：NPO法人YOU-I）



パネルディスカッション



多国籍カフェ

石川中央都市圏・国際交流連絡会を開催！

～4市2町が国際交流連携の取り組みを実施～

金沢市は、石川中央都市圏（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町）における連携中枢都市圏を形成し、4市2町の連携によって「石川中央都市圏ビジョン」を推進しています。人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化させて経済を持続可能なものとし、安心して快適に暮らせるよう、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことが目的です。

この枠組みにおいて、2016年度より4市2町の国際交流所管課が、情報交換や課題の共有等を行うことで連携を強化し、地域の国際交流の推進を図ることなどを目的とする国際交流連絡会を開催しています。

今年度は、連携を推進するための連絡会を4月・8月に金沢市で行ったほか、国際交流員による企画として、5月12日に内灘町で開催された「第31回世界の風の祭典」に参加しました。4市2町の国際交流員がデザイン、製作した凧を、留学生やボランティアと協力して飛

ばしたり、国際交流ブースを出展するなど、国際交流の推進を図りました。



凧製作の様子



集合写真

フランス共和国障がい者スポーツ連盟との事前合宿の実施に関する協定締結！

2020年2月18日、フランス共和国障がい者スポーツ連盟のサミ・エルゲダリ水泳担当ディレクターとギヨーム・ドミンゴ水泳コーチが金沢市役所を訪れ、山野市長と2020年東京パラリンピック競技大会でのフランス共和国障がい者スポーツ連盟水泳チームの事前合宿を金沢で行うことを定めた協定を締結しました。

協定書には、人的・経済的・スポーツ的・文化的な相互交流を実施すること、パラリンピック事前合宿終了後も継続して交流に努めることなども盛り込まれています。

なお、ジュール・イルマン在京都フランス総領事が同行しました。

〔主な日程〕

- 2/16 来沢
- 2/17 金沢プール視察、宿泊先視察、市内視察
- 2/18 協定書締結式、市内視察
- 2/19 離沢



フランス障がい者連盟との協定

ロシア連邦飛込連盟と事前合宿の実施に関する協定を締結！

2019年11月15日、ロシア連邦飛込連盟のスペトラーナ・モイセワヘッドコーチとエドワルド・フェオクチストワジェネラルマネージャーが金沢市役所を訪れ、山野市長と2020年東京オリンピックのロシア連邦飛込チームの事前合宿を金沢で行うことを定めた協定を締結しました。山野市長は「万全の態勢を整えたい」と歓迎しました。セルゲーフ・ミハイル在新潟ロシア連邦総領事が同行しました。

協定書には、合宿期間中に地元住民との交流を促進することや、オリンピック終了後も、経済や文化、スポーツなどの各分野で継続して交流に努めることなどが盛り

込まれています。また、2020年2月、金沢市は、ロシアの東京五輪の「ホストタウン」相手国として国に登録されました。



協定締結後の記念撮影

東アジア文化都市ネットワーク推進事業

「東アジア文化都市」とは、日本・中国・韓国の3か国の文化芸術による発展を目指す都市において様々な文化芸術イベント等を実施するイベントで、金沢市、ハルビン市（中華人民共和国）、釜山広域市（大韓民国）が2018年の東アジア文化都市に選定され、2018年1月から12月の期間で交流事業を行いました。

2019年は、引き続き3都市で文化芸術事業での派遣と受入を相互に行いました。

8月2日～3日

中国・ハルビン市、ハルビン音楽イベント「魅力的なハルビンの夏」に、金沢市よりオーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）の弦楽四重奏団が出演



中国・ハルビン市、「魅力的なハルビンの夏」でのOEK弦楽四重奏団の演奏

9月22日

韓国・釜山広域市、「東アジア文化の森」の日中韓協演でのコンサートに、金沢市芸能団（ピアニスト、横笛奏者）が出演

また、同イベントに加賀友禪作家を派遣し、加賀友禪

10月19日～20日

音楽団を中国・ハルビン市（ハルビン歌劇院民族楽団員8名他）、韓国・釜山広域市（釜山市立少年少女合唱団21名他）より受入

金沢市立千坂小合唱団「ドリーム」と千坂小で交流「鼓門ナイトパフォーマンス」への出演「創立70周年金城民謡まつり」への特別出演



韓国・釜山広域市、「東アジア文化の森」加賀友禪のワークショップ



金沢市立千坂小合唱団「ドリーム」と千坂小で交流

バッファロー [アメリカ合衆国]



中山芽バレエスタジオの山野市長への帰国報告

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人

面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

バッファロー・金沢 姉妹都市委員会広報担当者の来沢

2019年4月2日～3日にかけて、ハーツエル・節子 バッファロー・金沢 姉妹都市委員会広報担当が来沢しました。4月2日には、金沢21世紀美術館を視察し、また、3日には、山野市長を表敬訪問したほか、兼六園や金沢能楽美術館や鈴木大拙館を視察しました。



金沢能楽美術館での体験

[主な日程]

- 4/2 来沢、市内視察、食文化体験
- 4/3 金沢市長表敬訪問、市内視察、離沢

ア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21と2005年以來相互交流を続けながら、音楽をとおして市民との交流の輪を広げてきました。

滞在中は、金沢市民芸術村を訪れ、JAZZ-21から来沢を歓迎する演奏を披露されたほか、10年以上にわたる交流を振り返りながら、楽しい時間を過ごしました。

また遊学館高校吹奏楽部の練習の視察では、「美しくも迫力ある演奏に感銘を受け、帰国後の練習に生かしたい」と述べました。

[主な日程]

- 7/5 金沢市長表敬訪問、食文化体験
- 7/6 遊学館高校吹奏楽部視察、JAZZ-21訪問、市内視察、
- 7/7 離沢



中山芽バレエスタジオ 3度目のバッファロー訪問

2019年6月23日から7月28日までの間、金沢市内で活動する中山芽バレエスタジオの8名(団員7名、引率1名)が、2011年以來3度目となるバッファロー市訪問をしました。中山芽バレエスタジオは、姉妹都市バッファロー市内にある「ネグリア・バレエ」と2007年以來相互交流を続けながら、バレエをとおして市民との交流の輪を広げてきました。

滞在中、「ネグリア・バレエ」にて、アメリカ国内外の学生とともに厳しいレッスンに励んだ一方、アメリカ・バッファローの文化に触れることもでき、とても貴重な体験になりました。

[主な日程]

- 6/23 金沢発、バッファロー着
- 6/24～7/26 バッファロー滞在中
(レッスン、発表会、市民交流、市内視察)
- 7/27 バッファロー発
- 7/28 金沢着

ハンブルグ高校 ジャズバンド顧問の来沢

2019年7月5日から7日までの間、姉妹都市バッファロー市近郊で、同じエリー郡内にあるハンブルグ高校ジャズバンド顧問ラリー・ドービル夫妻が来沢しました。ハンブルグ高校ジャズバンドは金沢市民芸術村を拠点に活動するジュニ

日本庭園調査団の派遣



バッファロー・金沢姉妹都市委員会より、バッファロー市内デラウェア公園の中にある日本庭園の維持管理の助言と、修復の依頼を受け、2019年11月3日から6日まで調査団3名を派遣しました。

今回の訪問では、庭園内の松の剪定を行ったほか、来年度以降の修復に向け、庭園の現況調査、資材調達先の視察、現地の関係者や庭園専門家と意見交換を行いました。

[日本庭園の歴史]

- 1964年 金沢でことじ灯籠製作、バッファローへ寄贈
- 1965年 デラウェア公園内にことじ灯籠を設置
- 1974年 ことじ灯籠の周りに日本庭園完成
- 1996年、2008年 現地からの要請に基づき、日本庭園修復及び技術指導実施

Topics

駐大阪・神戸米国総領事の来沢

2019年4月23日に、ケリー・カレン駐大阪・神戸米国総領事が来沢し、山野之義金沢市長を表敬訪問しました。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



金沢のPRを行う金沢友の会のメンバー

提携 1967年（昭和42年） **人口** 148万人

面積 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウーショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

駐日ブラジル大使の来沢

駐日ブラジル大使のエドゥアルド・パエス・サボイア大使が2020年1月20日に本市を訪問し、ポルト・アレグレ市との交流事業などについて山野市長と懇談しました。懇談でサボイア大使と山野市長は、両市及び両国の交流促進について確認しました。



サボイア大使と山野市長の懇談

本祭りの2日間は、各メンバーが金沢に滞在したときの経験談を紹介するなど、忙しく活動した。両市の友好関係を市民に広く紹介するという、友の会の目的を達成することができた。」と話しています。



金沢マラソンのランナーも来場

金沢友の会が日本祭りで金沢をPR

例年、ポルト・アレグレ市内で開催される日本祭りの会場内で、金沢ゆかりの市民らでつくる「金沢友の会」が、金沢市や両市の友好関係について紹介しています。2019年8月17・18日に開催された第8回日本祭りでは、金箔製品や加賀友禅、九谷焼といった工芸品や、金沢の美しさを伝える写真を展示しました。多くの来場者は金沢の工芸品の繊細さに見入っていたほか、金箔貼り体験が人気を博しました。また、新企画として、友の会のメンバーが金沢滞在記の紹介をしたほか、昨年度、短期研修生として来沢したササダ・ヒワタシ・ルーカス・トシオさんが、金沢での研修内容について講演を行いました。金沢友の会のベアトリス・ロケットコベル会長は、「日



Olá, sou o Gabriel e permaneci 2 semanas em Kanazawa realizando um curso de intercâmbio cultural oferecido pela prefeitura de Kanazawa para convidados de suas cidades-irmãs. Lá pude conhecer e estudar aspectos do passado e do presente da cidade, visitando no processo pontos turísticos de grande importância para a cidade, como o Castelo de Kanazawa, o Distrito do Chá, o templo ninja e muitos outros! Foi uma experiência única e gratificante para entender e absorver traços da cultura japonesa.

【要約】

金沢では、金沢城や茶屋街、妙立寺等を訪問し、伝統的な街並みと現代的な街並みの両面を知った。日本文化のルーツを理解することはユニークで貴重な経験だった。

友の会メンバーの金沢体験談

イルクーツク 【ロシア連邦】



イルクーツク中学生親善団の表敬訪問

提携 1967年（昭和42年） **人口** 62万人

面積 277km²

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

金沢市中学生親善団イルクーツク市派遣

2019年7月28日から8月5日の日程で、西川和昭保健局長を団長とする中学生親善団20名（うち中学生15名）を派遣しました。本年は、成田からの直行便でイルクーツクに入りました。滞在中、世界遺産バイカル湖、第19学校、市内や子供鉄道などを見学するとともに、自然健康キャンプ“エコログ”では、同所に滞在する青少年とパフォーマンスの交換や直接ふれあう交流などを行いました。ホームステイ・プログラムでは、対面式で地元アンサンブルの歌やロシア式ゲームのほか、親善団からも準備してきたパフォーマンス「パブリカ」「Story」の披露を通じて、交流を深めた後、各ホスト家庭に向いました。一泊二日でしたが、戻ってきたときには、ホスト家庭の一員のようになっていました。表敬訪問では、ベジェニツカヤ課長をはじめ、関係者出席の中、イルクーツク市との交流に関する意見などを積極的に発言し、親善大使の役割を果たすとともに、両市の友好をより一層固めることに大きな貢献をしました。皆、交流を通じて新しい友人を作ったほか、姉妹都市に関する理解を深め、たくさん思い出を金沢市へ持ち帰りました。

〔主な日程〕

- 7/28 小松→成田→イルクーツク
- 7/29 学校訪問、市内見学
- 7/30 バイカル湖
- 7/31 表敬訪問
- 8/1 エコログ
- 8/2-3 ホームステイ・プログラム
- 8/4 イルクーツク→成田（航空機遅延のため成田で後泊）
- 8/5 成田から帰沢



ホストファミリーとの交流会

Topics

「第27回日ロ沿岸市長会」に都市政策局長を派遣

2019年8月20日から25日にかけて、日本とロシアの34市（日本側14市、ロシア側20市／日本側事務局新潟市）で構成され、両地域の友好促進、文化・経済関係の強化などを目的として、ロシア・ペトロパヴロフスク・カムチャツキー市で開催された「第27回日ロ沿岸市長会議」に、松田滋人都市政策局長を派遣しました。局長は、この会議の第2議題「両地域諸都市におけるインバウンド・アウトバウンドの取組みと相互協力」で発言する日ロの5市の代表の1人として、「金沢市の観光戦略」と題する講演を行い、本市の取組みや金沢の魅力を紹介しました。

「石川県ロシア協会」交流写真展開催

2019年10月18日から同28日にかけて、石川県ロシア協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、金沢国際交流財団に於いて、同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みにおいて交流写真展を開催し、姉妹都市イルクーツクの現在の様子を紹介しました。

新たな日ロ交流行事開催

2019年10月4日、日露・友好・親善・絆を深める会は、「フェスタ・バイカル」の枠組みにおいて、「時を超えた一枚の写真が現在に繋ぐもの」と題して、ロシア人捕虜の子孫を招いた新たな日ロ交流行事を開催しました。

「交流サポーター」活動

金沢市の青少年交流事業で、21世紀を迎えた後、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OBの有志で構成され、メンバー相互の切磋琢磨のための親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っている「交流サポーター」が本市の事業に協力してくれました。

6月：本年度イ市派遣される中学生への講話（1名）

8月：蘇州市中学生親善団交流送別会 司会・受付（4名）

8月：イルクーツク市での青少年交流発表会

司会・基調講演（2名）

10月：「世界8都市 食の祭典」における

金沢市ロシア協会ブースへの協力（10名）

その他、各種国際交流事業への参加など積極的に活動を行っています。

ゲント 【ベルギー王国】



ゲント市職員セリーヌ・モリス氏の基調講演

提携 1971年(昭和46年) **人口** 26万人

面積 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖パー夫大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

世界の食が金沢に～食文化交流団が来沢～

2019年10月11日から16日まで、ゲント市職員でNPO法人ゲント地方ビジネス推進機関(食文化普及ビジネス担当)に所属しているセリーヌ・モリス氏、和にインスピレーションを受けるショコラティエでYUZU店主ニコラス・ヴァネイセ氏の2名が来沢しました。



ゲント市ブースでの試食の様子

13日に、ヴァネイセ氏は市民向けの料理教室でチョコレート作りを教授し、参加者はチョコレート作りの繊細さに感嘆の声をあげていました。

14日の世界8都市・食の祭典では、ステージでの試食の説明を行い、ゲント市ブースで自店YUZUのチョコレートを振る舞いました。本場ベルギーのチョコレートはレベルが高く、味わい深く美味いと評判でした。

15日は、石川県菓子工業組合(金沢うら田)で和菓子作りの工場見学を行いました。繊細な和菓子作りに感心していました。また、石川県洋菓子協会(ルミューゼドウアッシュ、ふらん・ドール)では、日本の洋菓子について視察し、和をイメージした空間で洋菓子でのおもてなしや日本の洋菓子店の商品展開などに関心を寄せていました。

ユネスコ創造都市ネットワーク クラフト&フォークアート分野別会議で基調講演!

2019年10月15日、金沢市文化ホールで行われたユネスコ創造都市ネットワーク クラフト&フォークアート分野別会議でゲント市職員セリーヌ・モリス氏が「SDGsを推進する音楽の創造都市ゲントの取組」をテーマに基調講演を行いました。基調講演では、2018年に欧州連合内で開発途上国からの商品購入に取り組む都市に与えられる「EU Cities for Fair and Ethical Trade Award」を受賞したゲント市の先進的な取り組みに参加者は興味深く聴いていました。

ユネスコ創造都市ネットワーク クラフト&フォークアート分野別会議は10月14日から16日の日程で金沢市文化ホールにおいて開催され、金沢市をはじめ国内外9都市が参加しました。なお、ゲント市は音楽分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟しています。

また、10月16日に同会議で行われた国連大学主催の国際シン

ポジウムでは、ベルギー・フランダース地方と日本の芸術文化交流の「かけはし」として創造的な出会いの場を提供しているアーツフランダース・ジャパンのベルナルド・カトリッセ館長が基調講演を行いました。

ユネスコ音楽都市との交流!

2019年5月3日、風と緑の楽都音楽祭2019に出演するゲント市のトロンボーン楽団のクロスボーンズが県立音楽堂で公演しました。



「サマージャズキャンパスin金沢」で指導するウエイレル教授

また、2019年8月19日から23日まで、金沢市俵芸術交流スタジオで開催された「サマージャズキャンパスin金沢」において、ゲント王立音楽院教授のマルテン・ウエイレル氏が講師を務め、金沢の青少年に演奏技術の指導と講義を行いました。ウエイレル教授の参加は昨年引き続き2回目になります。

2019年9月13日から16日まで開催された金沢JAZZストリートに、ゲント市のピアノトリオDe Beren Gierenが出演し、映像を駆使した独自の世界観でヨーロッパサウンドを市内に響かせました。

さらに、2019年7月22日から24日の日程で、NPO法人金沢JAZZ連盟の前田良紀氏、新谷美樹氏、柿本紀希文化政策課長補佐の3名がゲント市を訪れ、ゲントジャズフェスティバル等を視察しました。

Topics

金城大学がホーゲント・ホゲスクール・ゲント大学と教育学術交流協定を締結

2019年10月1日に、金城大学とホーゲント・ホゲスクール・ゲント大学(以下、ホーゲント大学)は、石川EU協会名誉会長、北陸ベルギー友好協会顧問を務める浅野周二・金城大学特任教授の尽力により、教育学術交流に関する協定を結びました。ホーゲント大学で行われた調印式には、金城大学から前島伸一郎学長らが、ホーゲント大学からクーン・フートハルス理事長らが出席し、協定書への署名が行われました。

今後は、教育・研究活動及び必要な情報や資料の交換や、教職員や学生の交流などについて、両大学で連携しながらグローバル教育を推進していきます。

ナンシー【フランス共和国】



ナンシー交換留学生が市長へ出発・帰国挨拶

提携 1973年（昭和48年） **人口** 10万人
面積 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

交換留学生の受入・派遣

金沢市から2018年10月から2019年7月にかけて派遣された仁木このみさん（金沢美術工芸大学）が、ナンシー国立高等美術学校での1年間の留学生生活を終えて帰国しました。また、29人目の留学生として、小佐井あかねさん（金沢美術工芸大学）が派遣され、2019年10月よりナンシー国立高等美術学校にて学んでいます。

さらに、ナンシー市からの29人目の留学生、ミラー・カルラ（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を始めました。

- 8/5 来沢、オリエンテーション
- 8/6～9 市立保育所
- 8/18～19 ホームステイ
- 8/13～14 金沢美術工芸大学
- 8/15～16 市立図書館
- 8/19～20 農業センター
- 8/21～22 金沢能楽美術館
- 8/23～26 市立図書館
- 8/27～28 鈴木大拙館
- 8/29～30 国際交流課

インターン生の受入・派遣

ナンシー市でのインターンのため、持田大志さん（金沢大学）が金沢市から派遣されました。インターンは2019年8月5日から30日の期間で行われ、ナンシー市の公園庭園課の仕事を担当しました。

また、金沢市では、ナンシー市からのインターン生であるルパーモンティエ・エロディさん（ロレーヌ大学）とマイヤル・リズさん（ストラスブール大学）を同日程で受け入れ、就業体験を行いました。



農業センターでの農作業

Topics

ナンシー国立高等建築学校がワークショップを開催
ナンシー国立高等建築学校の教員1名及び生徒11名が、2019年4月11日から19日の日程で来沢し、本市の伝統的建造物群保存地区の寺町地区を対象に、金沢工業大学、東京理科大学と共同でワークショップを開催しました。

金沢市立病院とナンシー大学病院との研修医等の相互派遣
医師の育成と研究を通して、医療分野における両院の科学・技術交流を促進し、姉妹都市交流を一層深めるため、2019年7月1日から31日の日程で、金沢市立病院が地域圏立ナンシー大学病院から研修医2名を受け入れ、続く11月3日から29日の日程で、金沢市立病院から地域圏立ナンシー大学病院へ医師2名を派遣しました。

ノートルダム・サン=シジスベール校一行が来沢
学校法人金城学園遊学館高等学校の姉妹校ノートルダム・サン=シジスベール校の教員2名及び生徒12名が、2019年11月1日から9日の日程で来沢し、遊学館高校の教員や生徒の家庭でのホームステイや同校で高校生活を体験しました。

在京都フランス総領事の来沢
2020年2月17日から18日にかけて、ジュール・イルマン在京都フランス総領事が来沢し、山野之義金沢市長を表敬訪問しました。

石川県理容美容専門学校がナンシー市内で研修
石川県理容美容専門学校1年の門前貴太さんが、2020年3月2日から5月15日の日程で、ナンシー市内の美容室Mary coiffe les hommesにて研修を受けました。

蘇州【中華人民共和國】



蘇州市での加賀友禪実演

提携 1981年(昭和56年) **人口** 691万人

面積 8,488km²

約2,500年前の「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルク刺繍などの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げ、その経済力は中国国内トップ10にランクインしている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

蘇州市で加賀友禪が花開く～クラフト交流団を派遣～

2016年の合意書提携を受けて、2019年4月18日から23日まで、ユネスコ創造都市のクラフト分野に登録されている都市が参加する「世界クラフト&フォークアート首都サミットフォーラム」に本市からクラフト交流団を派遣しました。



加賀友禪作家と蘇州市伝統工芸職人との交流

同展示会は、4月19日から22日に、蘇州国際博覧中心で開催され、古泉良範氏による加賀友禪の実演及び染めの体験を行ったほか、ミス加賀友禪の茶山由衣氏が来場者へ金沢市や加賀友禪のPRを行いました。また、蘇州市の工芸職人と交流も行いました。展示会場面積4万m²に9カ国14都市から出展があり、金沢ブースにも約5000人が訪れ、人気を博していました。

世界の食が金沢に～食文化交流団が来沢～

2019年10月12日から17日まで、趙国明・蘇州飲食協会会長、朱新年・蘇州朱新年飲食管理有限公司、翁華明・江蘇国泰南園賓館有限公司中厨房主管の3名が来沢しました。

朱新年氏は中国4大点心の蘇州点心の中心人物、翁華明氏は老舗5つ星ホテルの伝統点心の名手です。

13日の市民向け料理講座では蘇州市伝統の甘味「酒釀団子」を教授しました。

14日の世界8都市・食の祭典では、白玉入りおしるこなどの蘇州点心を振る舞いました。

15日は、石川県華僑華人聯誼会(業香樓)の魏賢任会長が市場での仕入れなどを紹介し、その後、業香樓新館で、大連市の料理人と業香樓の料理人と共同で料理を作り、関係者を招いて交流会を行いました。

笑顔の生徒交流～第6回蘇州市中学生親善団が来沢～

2019年7月4日から8日まで、陳学芳・蘇州市田家炳実践初級中学校德育処副主任を団長とする中学生親善団17名(引率2名、生徒15名)が来沢しました。

滞在中一行は、兼六園・金沢城公園や金沢21世紀美術館、ひがし茶屋街などを視察しました。また、5日には、村山卓

副市長を表敬訪問し、その後、市立高岡中学校を訪問しました。学校訪問では、授業見学、給食体験を行い、歓迎式典では生徒による吹奏楽演奏など温かい歓迎を受けました。その後、生徒会との交流や茶華道部による茶道体験などを行いました。



高岡中学校での生徒間交流

6日から7日に行った1泊2日のホームステイでは、昨年度に金沢市中学生親善団として蘇州市を訪問した生徒の家庭が中心となって受入を行い、送別交流会では、「ジャスミンの花」を合唱し、親睦を深めました。

蘇州太湖国際マラソン大会へ選手団を派遣

2019年11月17日に開催された「蘇州太湖国際マラソン大会」に、大岩為一・石川陸上競技協会副会長を団長とする金沢市選手団4名が、11月15日から18日の日程で参加しました。

31の国と地域から参加した約3万人が参加する中、男子フルマラソンに出場した濱上貴志選手(金沢マラソン2018・男子31位)は、2時間47分25秒(14位)でゴールしました。女子フルマラソンに出場した大海理恵選手(金沢マラソン2018・女子21位)は、3時間28分59秒(12位)でゴールし、好成績を収めました。

Topics

蘇州民族管弦楽団が金沢市文化ホールで公演

2019年9月17日、金沢市文化ホールで蘇州民族管弦楽団がコンサートを行いました。コンサートでは、O E Kエンジェルコースと共演しました。

飛込競技選手団が金沢での大会に参加

2019年12月7日から8日にかけて金沢プールで行われた「中田周三杯飛込競技大会」で、蘇州市から呉心怡、王韵皓の2選手が参加し、呉心怡選手が3位に入賞しました。

蘇州市へ支援物資を送付

2020年2月5日、新型コロナウイルスの感染者が出ている蘇州市から医療関係の支援物資の要請があり、サージカルマスク1万枚を初めて送付しました。

全州 [大韓民国]



全州市での竹工芸ワークショップの様子

提携 2002年(平成14年) **人口** 65万人

面積 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、韓(ハン)ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

「2019群山セマングム国際マラソン大会」選手団が全州市陸連と交流

2019年4月12日から15日の日程で、全羅北道郡山市で開催された「2019群山セマングム国際マラソン」に、野村泰裕・金沢市陸上競技協会競技委員長を団長とする選手団3名が参加しました。選手団は、レース前に全州市を訪れ、全羅北道陸上連合会、全州市陸上連盟との交流を深めました。

大会では、選手2名が金沢マラソンのPRを行いながら完走し、上野大聖選手が1位(男子30歳代以下の部)、岡本るみ子選手が3位(女子壮年の部)と好成績を収めました。

金沢市立工業高等学校の生徒らが全州工業高校を訪問

2019年7月7日から10日の日程で、金沢市立工業高等学校訪問団(教諭3名、生徒19名が、姉妹提携校である全州工業高校を訪問しました。一行は、事前学習で学んだ韓国語などを用いながら生徒同士が交流し、友好を深めました。全州工業高校との交流は、2011年から続いています。



全州工業高校生徒らの歓迎

全州市民に竹工芸を紹介「第18回金沢伝統工芸展」に出展

2019年12月11日から22日まで全州市の韓国伝統文化



韓国伝統文化殿堂での展示

殿堂において「第18回金沢伝統工芸展」が開催され、加賀縫、加賀手まりなど金沢の希少伝統工芸品を中心に、工芸品125点を展示しました。この展示会は、

2002年の姉妹都市提携後、全州市の(社)韓紙文化振興院との間で毎年相互に双方の都市で開催しています。

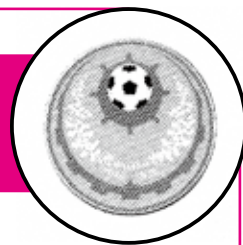
これにあわせて、竹工芸作家の本江和直齋氏と橋本紗織氏をはじめとする4名の参加団が12月10日から13日までの日程で、全州市を訪問し、金沢伝統工芸展の開会式へ出席しました。滞在中、竹工芸(ティーマットと風車)の制作体験ワークショップを開き、参加者に精緻で美しい日本の竹細工の技を紹介したほか、韓紙工芸の第一人者である金恵美子先生の工房訪問などをおして(社)韓紙文化振興院との交流を深めました。

金沢海みらい図書館が全州の文化紹介イベントを開催

2015年に全州市完山図書館と「友好提携交流の展開に関する合意書」を結び、圖書の寄贈などの交流を続けている金沢海みらい図書館で、全州の食文化と伝統音楽について学ぶイベントが開催され、参加者が全州市の文化について理解を深めました。

開催日 2020年2月9日(日)
会場 金沢海みらい図書館

大連【中華人民共和国】



世界8都市・食の祭典での試食提供

提携 2006年(平成18年) **人口** 595万人
面積 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ風光明媚で活力溢れたファッションとサッカーをイメージした観光戦略都市でもある。また、従来の船舶・鉄道車両などの工業基地に加え、郊外に位置する「大連金普新区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。

世界の食が金沢に～食文化交流団が来沢～

2019年10月13日から16日まで、陳美剛・大連市人民政府外事弁公室二級調査研究員、庄欣文・大連棒極島賓館有限公司料理監査役、韓斌・大連棒極島賓館有限公司料理長の3名が来沢しました。

大連棒極島賓館有限公司は、大連市の迎賓館の役割を担う一流ホテルで、庄欣文氏は中国10大名シェフに選ばれています。また、韓斌氏は中国の有名なシェフで、料理部門の国家認定を受けた料理人です。

台風の影響で予定より1日来沢が遅れたため、市民向けの料理講座には参加できませんでしたが、14日の世界8都市・食の祭典と15日の料理人交流事業には参加できました。

13日夜に来沢後、石川県華僑華人聯誼会(菜香樓)で、世界8都市・食の祭典で提供する試食の仕込みを夜遅くまで行いました。

14日の世界8都市・食の祭典では、名物の海老料理の試食を振る舞いました。ステージでの試食の説明の後の試食には長い列ができていました。

15日は、石川県華僑華人聯誼会(菜香樓)の魏賢任会長が市場での仕入れなどを紹介し、その後、菜香樓新館で、蘇州市の料理人と菜香樓の料理人と共同で料理を作り、関係者を招いて交流会を行いました。

なお、一行は16日に富山空港から帰国しました。



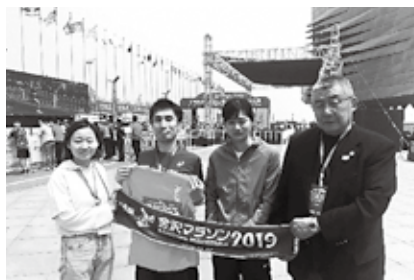
試食の下準備をする様子

大連国際マラソン大会に選手団を派遣

2019年5月12日に開催された「第32回大連国際マラソン大会」に、吉田久俊・石川陸上競技協会副専務理事を団長とする金沢市選手団4名が5月10日から13日の日程で訪問しました。これは、2016年に締結された合意書に基づくスポーツ交

流の一環で、4年連続の参加になります。

大会には43の国・地域から約3万人が参加しました。海沿いで強風が吹き厳しい条件のコースを、男子フルマラソンに出場した山吹昌寛選手(金沢マラソン2018・男子28位)は、2時間35分13秒(21位)、女子フルマラソンに出場した上野明日香選手(金沢マラソン2018・女子17位)は、3時間20分42秒(24位)でゴールしました。両選手とも金沢マラソンをPRしながら走りきり、好成績を取めました。



金沢マラソンをPRする金沢市選手団

大連市で海外教育派遣研修

海外での教育事情を視察するため、熊谷有紀子・金沢市教育委員会研修相談センター所長を団長に、市内小中学校の教員等からなる「金沢市海外教育派遣研修団」一行6名が、2019年10月19日から23日の日程で大連市を訪問しました。この事業は、金沢市立学校の中堅教員を友好交流都市・大連市へ派遣し、プログラミング教育やICTを活用した教育等の視察及び意見交換を通して友好を深めるとともに、国際感覚を磨き、実践的指導力の向上を図り、グローバル化に対応した人材の育成を目的とし、金沢市教育委員会が2004年度から毎年実施しているもので、今回で16回目となりました。

滞在中、一行は、大連教育学院や大連大学、小中学校等を視察し、授業見学、大学生や教員との交流を行ったほか、ICT化の取り組みを視察するため、現地企業を視察しました。

Topics

大連市へ支援物資を送付

2020年2月5日、新型コロナウイルスの感染者が出ている大連市から医療関係の支援物資の要請があり、サージカルマスク1万枚を初めて送付しました。

こくさいこうりゅういん 国際交流員による国際理解講座

かなざわし 金沢市には、アメリカ・ベルギー・中国・韓国からの4名の国際交流員とフランスからの1名の国際交流専門員が在籍しています。姉妹都市交流に関する業務に加えて、地域レベルでの国際理解の醸成を図ることを目的として、出身国の言語・料理・季節行事等に関する講座や姉妹都市に関する講座を開催しています。また、金沢市内の小中学校や地域団体への講師派遣も随時行っています。

- ・ 4月23日（火）
「ワールドクッキング教室
～早くて、簡単、韓流ランチ～」（参加者19名）
- ・ 5月22日（水）
「ワールドクッキング教室
～春野菜を美味しく食べようベルギー料理～」
（参加者19名）
- ・ 7月17日（水）、24日（水）
「シニアのための英会話 はじめの一歩」
（受講者16名、15名）
- ・ 2月13日（木）
「バレンタインにベルギーチョコレートをつくらう！」
（参加者20名）
- ・ 2月19日（水）
「元宵団子をつくって春節をお祝いしよう！」
（参加者9名）



ワールドクッキング教室
～早くて、簡単、韓流ランチ～



シニアのための英会話
はじめの一歩



バレンタインにベルギーチョコレートをつくらう！



元宵団子をつくって
春節をお祝いしよう！



西小学校への派遣



内川中学校への派遣

たいげんかた 体験型グローバルキッズセミナー

まいとしなつやす 毎年夏休みに、国際感覚を持つグローバル人材の育成を目指した「体験型グローバルキッズセミナー」を開催しています。講師は、金沢に暮らす外国人市民が務め、小学3～6年生の子どもたち20名を対象に、母国の文化を紹介し、クイズなどを通して、楽しみながら英語に触れる体験プログラムを実施しています。世界には様々な文化があることを知り、日本との共通点や相違点を発見することで、子どもたちの国際理解を深め、英語コミュニケーション能力の向上につなげていく連続セミナーです。

7月25日（木）

第1回「フィリピン」

フィリピン出身のジュニーヴァさんから、子供の頃に遊んだ「ラスティコ」という輪ゴムを使ったフィリピンのゲームを教わり、フィリピンの学校の様子などを学びました。



8月8日（木）

第2回「インドネシア」

インドネシア出身のイマンさん、アリフィアンさん、ハナさんが、竹でできたインドネシアの伝統楽器「アングルン」を紹介し、みんなで「きらきら星」を演奏しました。



8月22日（木）

第3回「アメリカ」

アメリカ出身でありながら、コロンビアにルーツを持つジュリアンさんから、ジュリアンさんが子どものころによく食べたアボカドディップの「ワカモーレ」を一緒に作りました。



国際交流ダイアリー

4～6月

- 4月8日 **カンボジア王国ヘン・サムレット観光局長ら2名 観光施策視察**
- 4月25日 **金沢市出身の青年海外協力隊員 帰国報告**
- 5月8日 **金沢市山野市長一行「八田技師夫妻墓前祭」に参列（台湾・台南市内）**
- 5月31日 **中国・蘇州市相城区代表团 来訪**
- 5月31日 **韓国・禮山郡月進会訪問団 来訪（百万石まつり視察）**
- 6月4日～7日 **NYシェフ 金沢で和食研修に参加**
- 6月11日～13日 **金沢市交流拠点推進室長 イタリア・ファブリアーノ市創造都市会議に参加**
- 6月29日～7月7日 **金沢・シリコンバレー児童国際交流団 来訪**

7～9月

- 7月1日 **韓国・群山市議会 金京九議長ら14名 下水道施設視察**
- 7月3日 **トルコ・ガジアンテップ市長一行 来訪**
- 7月2日～4日 **「かなざわ講座イン・ミラノ」を開催（イタリア・ミラノ市）。茶道裏千家呈茶席、加賀宝生能公演など**
- 7月3日 **金沢市山野市長 「かなざわ講座」で誘客プロモーション実施**
- 7月9日 **金沢市出身の青年海外協力隊員 出発挨拶**
- 7月17日 **金沢市早朝ソフトボール連盟 韓国・全州市・円光大学とのソフトボール友好交流訪問団 出発挨拶**
- 7月22日～30日 **金沢JAZZ連盟及び金沢市文化政策課課長 補佐 ベルギー・ゲント市及びスペイン・サンセバステイアン市の文化行政視察**
- 8月21日～23日 **朝鮮日報社チェ・アリ氏ら2名 文化施設視察**

8月26日～30日

金沢市金沢港活性化推進室長 上海ポートセールスに参加

9月17日

中国・蘇州民族管弦楽団 来訪

9月24日～10月4日

金沢市議会代表团 姉妹都市・フランス・ナンシー市、ベルギー・ゲント市等を訪問

10～12月

10月2日

台湾歴史博物館 林崇熙館長ら3名 来訪

10月4日

新潟ロシア連邦セルゲエフ・ミハイ ル総領事 来訪

10月14日～16日

ユネスコ創造都市クラフト&フォーク アート分野8都市26名 来訪

10月15日

中国・蘇州市食文化交流代表团 来訪

10月31日

タイ王国市長団22名 経済活性化施策視察

11月5日

中国・景德镇市陶芸作家 アーティスト・イン・レジデンス事業に参加

11月6日

中国・遼寧省旅游教育センター訪問団 来訪

11月11日～15日

金沢市産業政策課課員 東南アジアポーターセールに参加

12月3日

中国・大連市人民政府外事弁公室主任一行 来訪

12月6日

中国・蘇州市飛込競技選手団 来訪

12月15日～21日

金沢市産業政策課長 北米ポーターセールスに参加

12月17日

中国・蘇州市青年連合会 来訪

1～3月

1月16日

中国・蘇州大学代表团 来訪

1月31日～2月1日

フランス・パリ市で開催された第7回「伝統と先端と～日本の地方の底力～」に金沢箔を出展。箔職人2名派遣

2月18日

ジュール・イルマン在京都フランス総領事 来訪

自治体国際化協会派遣職員的一年

いけだ しほ
池田 志穂



皆さん、こんにちは。2018年4月より、金沢市国際交流課付けで一般財団法人自治体国際化協会（クレア）に派遣されております。東京本部での一年間の勤務を終え、2019年4月よりパリ事務所（以下、クレア

パリ）で勤務しています。

初出勤日は、スリが多いと悪名高いパリのメトロに乗り、ずっとカバンを抱きかかえたまま不安でいっぱいでしたが、最寄りの駅に着き地上に出た瞬間、真っ青な空に凜とそびえ立つオペラ座にとても感動し、気持ちを新たにすることを今でも鮮明に覚えています。

こちらでの業務は、フランスを中心とする欧州でプロモーションや視察・調査などを行う日本の自治体の海外活動への支援（アポ取りやアテンド、イベント補助など）、フランス各地での日本の自治体PR、フランスの自治体関係者との情報交換やネットワークづくり、情報発信など多岐に渡ります。

もちろん、私には金沢市職員としてのミッション、フ

ランスにおける金沢のPR業務もあります。7月には欧州最大の日本文化の祭典、ジャパンエキスポに金沢市が2020年東京オリンピック・パラリンピックのフランスのホストタウンとしてブース出展をし、私も運営の支援をしました。11月には、クレアパリがフランス北東部にあるコルマルで開催された国際旅行博に出展し、私は日本の自治体代表として、来場者の前で金沢のプレゼンテーションをフランス語で行いました。私の拙いフランス語で伝わるか不安でしたが、現地職員に特訓してもらった成果もあり、多くの来場者に耳を傾けていただけました。2月には、クレアパリが毎年パリで開催している自治体の伝統工芸品の企画展に金沢市からも金箔工芸品を出展することになり、金沢から2名の金箔職人にお越しいただき、金箔の魅力現地の人々に直に発信することができました。

来年度も、色々な機会を捉えて、現地にいるからこそできる金沢のPRを積極的にしていきたいと思っています。

パリでの活動の様子は、クレアパリのホームページ（<https://www.clairparis.org/>）でご覧いただけますので、ぜひ覗きにきてくださいね！

国際交流専門員的一年

デュボワ・マチルダ（フランス）



Bonjour! C'est Mathilde. こんにちは！

去年は国際交流員として、最後の親善ニュースを書いたのに、まだいるのはなぜ？！と思われる方もいらっしゃるかもしれません。国際

交流員の5年間で満了してから、なんと国際交流専門員として務めさせていただいております！業務内容はさほど変わりませんが、やはり、今年は東京オリンピック・パラリンピックが大きな仕事ですね。

さて、去年を振り返ってみると、5月に石川中央都市圏の仲間と内灘町の風の祭典に参加しました。自分の手で日本式の竹の扇を作り、留学生や石川県在住の外国人の方々や飛ばせた経験はすごく面白かったです。

7月には、韓国で開催された世界水泳選手権の事前合宿のために、フランスの水泳の競泳、飛び込み、オープンウォータースイミングを、また下見のためにウエトリフティングの代表チームをそれぞれ受け入れました。その際に、

金沢市内でボランティアの方々を募集しましたが、応募者数や対応したときの様子を見て、皆さまのフランスへの愛情がすごく伝わりました。皆さまのおもてなしのおかげで、フランスのチームは皆、最高の合宿だったと絶賛し、水泳選手達は世界水泳選手権で好成績を取めることができ、ウエトリフティング選手達は安心してオリンピック本番を迎えられると評価していました。

合宿以外にもフランス人のお客様を受け入れ、金沢の文化を紹介しましたが、皆さまが大変興味を持ってください、すっかり金沢のFANになってくれました。

10月は強力な台風が襲われましたが、それにもかかわらず、頑張って金沢と食文化の交流イベントに参加するために来日して下さったナンシー市のシェフに感謝しています。2日間、金沢の老舗料亭でお互いの食文化、調理技術などについて交流をしていただきました。食文化が豊富な金沢とフランスにはぴったりな交流ですね。今年も全力でフランスと金沢の交流に貢献したいと思います。オリンピック・パラリンピックでフランスと日本を応援しますので、皆さまも是非、ご一緒に応援してくださいね！

ロスマン・ヘイリー（アメリカ）



Hello, everyone! (皆様、こんにちは！)

私はアメリカ・ニューヨーク市出身で、金沢に着任してから、もうすぐ1年半になります。「Time flies when you're having fun!」(楽しい時は時間の経つのが早い!) という英語表現がぴったりだと思います。

国際交流員として2年目を迎え、これまで以上に責任感を持ち仕事に取り組みました。翻訳を始めとして、学校訪問や国際交流イベントのサポート、外国からの訪問客への随行、姉妹都市との連絡調整など、たくさんの仕事に取り組んでいます。市内外の留学生に対して金沢をPRすることを目的とする「国際交流特使養成講座」も今回初めて担当させていただきました。

海外からの観光客や住民がますます増えている今日、パンフレットなどの多言語対応を始めとした多文化共生社会の実現はとても重要な課題です。そのため、市内のテレビやラジオ番組に出演させていただき、海外出身の金沢市民の代表として、様々なテーマについて話す機会をいただいています。時には「ベジタリアン」のような、あまり身近ではないテーマについてもお話する機会があり、このような活動が金沢の多文化共生社会の進展への一助になれば幸いです。

11月には、村山副市長を団長とする金沢市代表団の通訳として、アメリカの姉妹都市であるバッファロー市を訪問しましたが、これまでの仕事の中で一番印象に残りました。3泊4日の出張中には、バッファロー市長への表敬訪問、市内にある日本庭園でのツアー、高校での視察に加えて、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の開催やバッファロー市民との多様な交流活動なども行い、バッファロー市との姉妹都市提携を強化する目標が達成されました。

ヴェレルン・ラーニ（ベルギー）



2019年8月からベルギーの国際交流員として仕事をさせていただいています。生まれ育ちはベルギーの北方にあるフランダース州アントワープ市という町で、ベルギーチョコレートに関する一番大きい博物館があるところなんです。実は、金沢の姉妹都市である Gent 市に住んだことがないのですが、私が金沢に引っ越した時、同時に私の弟が Gent 市に引っ越したので姉妹都市に姉弟が住むのはとても素敵な偶然に感じました。私は5年間ルーヴェン大学で日本語を勉強し、途中福岡に1年間留学しました。専門は日本文化・歴史です。日本文化というと、特に茶道と日本料理に関心を持って、この伝統芸術を非常に大事にしている金沢という町に住むことができているので心から感謝いたします。

国際交流員としては様々な分野で仕事をさせていた

これまでの国際交流員としての様々な活動を通じて、金沢の溢れる魅力に触れることができ、金沢でしか見られない習慣、アート、食文化などについてさらに理解が深まったと感じています。この知識や経験を大切に、今後の仕事はもちろん、プライベートでも生かしていきたいと思っています。次年度も3年目として引き続き頑張りたいと思いますので、皆様、どうぞよろしくお願います。

これまでの国際交流員としての様々な活動を通じて、金沢の溢れる魅力に触れることができ、金沢でしか見られない習慣、アート、食文化などについてさらに理解が深まったと感じています。この知識や経験を大切に、今後の仕事はもちろん、プライベートでも生かしていきたいと思っています。次年度も3年目として引き続き頑張りたいと思いますので、皆様、どうぞよろしくお願います。

だき、毎日が新しい経験となります。秋は学校訪問が多く、また、9月の「JAZZ STREET」にGent市のバンドが参加したこと、食文化交流事業のような交流イベントで忙しかったため、日本文化だけではなく、ベルギーの文化に関する勉強にもなりました。その後、JETプログラムの国際交流員向けの研修と翻訳・通訳講座に参加し、自分の能力向上の機会をいただきました。最近、特に翻訳の仕事が増え続けているので、学んだばかりのことをすぐ仕事に役立てることができて良かったと思います。

国際交流員としての旅は始まったばかりなので、とてもワクワクします。皆様、大変お世話になります。が、一所懸命頑張りたいと思います。何卒よろしくお願います。

国際交流員としての旅は始まったばかりなので、とてもワクワクします。皆様、大変お世話になります。が、一所懸命頑張りたいと思います。何卒よろしくお願います。

Dankuwel en tot de volgende! (ありがとう、また今度！)

でん れい ちゅうごく 田 玲 (中国)



ダジャハオ
大家好！
皆様、こんにちは。中国の陝西省
漢中市の出身で、2019年4月から金
沢市に着任しています。光陰矢のご
とし、あっという間に1年間が経ち
ました。日本での初めての生活ですので、この一年間は
私にとってとても特別な一年間でした。

2019年は金沢市と蘇州市と姉妹都市提携38年目、大連
市と友好交流都市提携13年目でした。金沢に来てまもなく、5月に中国の大連市で行われた大連国際マラソン大
会に金沢市の選手団の通訳として同行し、金沢マラソン
もPRしてきました。選手たちが一生懸命走っている姿
を見ると、とても感動的で、これから自分ももっと頑張
らなければいけないと思いました。わずか4日間でしたが、最高の思い出になりました。また5月の末、蘇州市
相城区からの代表団が金沢市を訪問し、初めて正式な場
で表敬訪問時の通訳をさせていただき、緊張しながらも
新しい経験ができて、大変勉強になりました。7月には
蘇州市からの中学生親善団を受入れました。生徒たちは

イム ヘヨン かんごく 林 慧娟 (韓国)



皆さん、アンニョンハセヨ！（こ
んにちは！）

2016年4月に金沢に着任し、ワク
ワクドキドキしていたことがまだ記
憶に新しいのに、もう4年という年
月が経ち、国際交流員を卒業する時
まで残りわずかとなりました。

今年度も市内の小・中・大で出前講座や、市
民向け文化講座、パンフレットの翻訳や同行通訳な
ど、さまざまな仕事で充実した日々を送りました。今年
の文化講座では、韓国でその時期に流行っていた料
理、季節の食べ物を参加者と一緒につくって食べました
が、子供から大人まで、みんな喜んでいただけて嬉し
かったです。着任1年、2年目の時は辛さ加減がよく
わからず、参加者にだいたい刺激的な思いをさせてしま
ったこともありましたが、少し成長したと言えるかも
しれません（笑）。

また、今年度は、金沢市の伝統工芸品を全州市で紹介

滞在中にひがし茶屋街などの金沢の名所を視察し、金箔
貼り体験を行い、一泊二日のホームステイを通して、金
沢の家庭生活も体験しました。金沢の中学校に訪問する
とき、両市の生徒と一緒に英語の授業を受け、楽しい交
流ができたのはここに沁みました。若い世代の交流の
大切さを強く感じました。

その他、国際交流員の仕事はいずれも新鮮なことばか
りでした。市内の小・中学校訪問、市民向けの料理講
座、ラジオ出演、パンフレットの翻訳、中国からの代表
団の通訳など、幅広い仕事をしてきました。金沢市の魅
力に触れながら、中国文化を日本へ紹介できることを、
とてもうれしく感じます。

仕事以外にも、楽しいことがいっぱいありました。友達
が遊びに来てくれて、千里浜に行って夕日を見たのは、
まるで昨日の日のことのように。お座敷太鼓を経験し、金
沢百万石まつりの踊り流しに参加し、犀川沿いで花火大
会を見たことは、一生の思い出になりました。

2020年は蘇州市と金沢市、大連市と金沢市、また中国
と日本の間の交流がより一層進むことを期待しておりま
す。微力ながら、これからも頑張っていきたいと思っ
ています。どうぞよろしくお願いたします。

する第18回金沢市伝統工芸展開催のために全州市へ行
ってきました。両国の関係が冷え込んでいた時期だっ
たので心配の声もありましたが「こういう時期だから
こそ、今まで構築してきた交流関係を大切にすべき」
という声があがり、親交を深める両市民の姿から草の
根交流の重要性を改めて実感することができました。
面と向かって人と人が行う交流の継続が、両国の雨降
って地固まる日を早めるに違いないと思います。

また、今年度は金沢市特設養成塾の運営を任せていた
だき、新しい仕事にチャレンジしました。イベントの
企画から実施まで、わからないことや一人ではできな
いことが多くありましたが、親切な上司と同僚に沢山
助けてもらい、やりがいを感じながら楽しく仕事がで
きました。

素敵な街とやさしい人々に囲まれ国際交流員として
活動した4年間は、多岐にわたる沢山の経験とやりが
いに満ちた幸せな4年間でした。次はどこで新しい生
活を始めるかまだわかりませんが、どこにいても金沢
の魅力を人々に伝えていきたいと思っています。金沢の皆
さん、本当にありがとうございました。



第46号 (2019年度・令和元年度)

2020年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069